

県立佐原病院の 存続と充実について



鈴木 聖一 議員

Q 新「県保健医療計画」の改定内容は、県立佐原病院の存続は明記されたか。

A 計画の中で県立病院の役割は、「高度専門的な医療について全県および複数圏域を担っていくことを基本とし、これまで県立病院が担ってきた地域完結型の一般医療については、地域の自治体を中心となり、新たな医療提供体制の再構築を進めていく。再構築にあたっては、新たな医療体制が整うまで、県立病院が担ってきた地域医療水準が後退しないよう医師確保などに十分配慮し自治体の取り組みを支援する」としています。

Q 耐震補強工事の進捗状況は。

A 平成30年度は工事の実設計計を行っており、平成31年度は耐震改修工事に着手し、平成32年度に終了する予定と伺っています。

Q 市長は県立佐原病院の存続と充実について、県に何回要望活動をしたのか。

A 平成30年度に1回行っています。

複合公共施設および 橘ふれあい公園の 整備事業について

Q 複合公共施設の総事業費は。建設費39億円が、45億6千万円に増えた理由は。

A 複合公共施設は、建物が約39億円で、駐車場の整備などの外構工事を含め、約45億6千万円と見込んでいます。また、パークゴルフ場を含めた第1工区全体の事業費は、用地取得費を含め、約6億円を見込んでいるほか、ホール案内看板や防球ネットなどの設備設置費は36ホールで約1600万円を見込んでいます。

Q 複合公共施設の維持管理運営費は。橘ふれあい公園のパークゴルフ場の維持管理費は。

A 複合公共施設は、年間で光熱水費が約3700万円から約4600万円、清掃・保守点検料が約2100万円、駐車場管理委託料が約700万円、機器類点検委託料が約1800万円と見込んでいます。パークゴルフ場の維持管理費は条件により変わりますが、年間で3千万円程度と考えています。

Q 両事業とも市民事業仕分けにおいて不要・凍結を多く含む要改善の判定だが、大幅な事業見直しを行うのか。36ホールのパークゴルフ場の縮小見直しを行うのか。

A 複合公共施設は、市民事業仕分けでの厳しい評価を受け検討した結果、整備費や維持管理費の大幅な見直しを行います。橘ふれあい公園のパークゴルフ場は、初心者から上級者まで多くの人に利用していただけるよう、コースごとに難易度を変えるなどバリエーションに富んだものとし、近隣の差別化を図るため、36ホールとしました。



平成31年4月にオープンした体験学習施設

市長選挙・ 市議会議員選挙の 同日選挙を



ちとせ まさひろ
千年 正浩 議員

Q 平成30年4月の市長選挙および12月の市議会議員選挙の決算見込み額、並びに同日選挙により予想される削減額は。

A 市長選挙は、23336万7957円。市議会議員選挙は、4821万2766円。削減額は、1368万円が想定されます。

Q 市長選挙と市議会議員選挙を同日に行う方法は。

A 地方公共団体の議会の解散に関する特例法による議会の自主解散により、市議会議員選挙を市長選挙に合わせる方法と、市長が市議会議員選挙に合わせて退職を申し出る方法がありますが、退職した市長が再任されたときの任期は、当初の任期の在任期間となります。

Q 議会の任期を前倒しして自主解散をする方法で同日選挙をしたら、市長はどう思うか。

A 議員の皆さんが議会で決めることで、す。経済的な削減については有効であると考えています。



賑わいと交流の拠点 佐原駅周辺地区複合公共施設（イメージ図）

旧清見屋跡地の 複合公共施設について

Q 旧清見屋跡地に建設予定の複合公共施設を若手県紫波町「オガール」のような民間主導の収益施設に見直しできないか。

A 図書館や公民館、子育て世代支援施設などの公共利用が主体の施設であり、民間主体の収益施設の導入は難しいと考えています。

Q 概算事業費は約56億円とのことだが、年間の維持管理費の予想額は。

A 年間で、光熱水費が約3700万円から約4600万円、清掃・保守点検料が約2100万円、駐車場管理料が約700万円、機器類点検委託料が約1800万円程度となります。

Q 複合公共施設建設後、現在の佐原中央公民館および中央図書館はどうするのか。

A 老朽化が激しく、公共施設としての利用が困難な状況です。土地は県所有のため、県と協議し、跡地利用も含め、検討していきます。